



巻頭言

夏の強い日差しもすっかり影を潜め、空の青さに淡い筋状の雲が印象的な季節になりました。3年生においては、9月中旬からスタートした就職採用試験の第1ステージが終わり、現在では二次募集に向けての取り組みが始まっています。最初のトライで残念な結果になってしまった人も、気持ちを切り替えて第2ステージに臨んで欲しいと思います。一度や二度の失敗はよくあることです。就職のみならず、進学においても一度決めた目標は簡単にあきらめず、粘り強く追い求めることが、成功への近道だと思います。

就職関連

就職内定率過去最高！

今年の就職者の第1希望での合格率は、例年の55%程度を大きく上回り、本校始まって以来、最高の75%という結果です。

今年の大きな特徴は、

① 学力不足による不合格者が激減。

毎年不合格になる生徒の半数以上が学力不足で不合格となっていました。が、今年は学力不足で不合格になった生徒が非常に少なく、この学年から取り入れたマナトレの成果ではないかと考えます。

特に、毎年一番多かった、『計算問題が10点以下だったので・・・』と言われることが、今年は、まったくありませんでした。

② 不合格理由第1位は遅刻欠席の数。

不合格理由で一番多かったのが遅刻欠席の数です。多くの企業の方々が言うように10日以下にしないと就職することは難しいようです。反対に、欠席0だから採用を決めたと言われた人もいました。

③ 面接にはコツがある。

若干ですが面接で不合格になっている人がいます。この人たちは、担任の面接指導を受けていない人がほとんどです。個人の長所を一番引き出せる面接を指導できるのが担任です。残念なことにそれを、アルバイト等個人的理由で受けなかった人たちが不合格になってしまっています。

これ以外に、他校受験者も優秀で、採用枠を増やすことも検討したができずに『申し訳ありませんが不合格にしました。』と言われた人もいます。このような特別の例を除くと、第1希望で合格するには、日々の生活や学習をしっかりとする必要がわかりやすいです。

進学関連

学校によってはすでに終了しているところもありますが、10月に入り、多くの大学・専門学校で推薦入試の出願受付が始まりました。ほとんどの学校において、推薦入試は10月末から11月末の間に行われます。推薦入試は学科試験を課すところも若干ありますが、面接や小論文が主で、推薦入試を控えている3年生は、現在、面接練習などに励んでいます。面接で特に大切なのは、①どうしてその学校に入学したいのかという志望理由を、自分の言葉でしっかり述べることができるかどうかということ、そして②高校生活において、勉強であれ部活動であれ、一生懸命に取り組めた活動があって、それを通じてどのような有意義なことを学んだかについて、しっかり述べられるかどうかということです。

1、2年生の皆さん、皆さんが3年生になり、進路を決める段階に来たとき、①②のようなことについて自信を持って答えられるように、勉強を含めたこれからの様々な活動に積極的に取り組み、その中で自分が将来何を求めているのかを見つけていきましょう。



進路 NEWS

夏休みに入って間もない去る7月25日に、2年1組を中心とした本校生徒 37名が茨城大学のオープンキャンパスに参加しました。当日は真夏の日差しが照りつける中、7,000人以上の人が訪れ、熱心に学内を見学していました。本校の生徒も興味のある講義を受講し、大学生の受ける授業を体験してきました。講義のみならず、キャンパスライフの紹介、サークルなどの紹介等もあり、大学生を疑似体験できた1日でした。

Aくんの感想

施設が充実してキャンパスがきれいだった。大学は強制されて勉強する場所ではないことが分かり自分で頑張らなければと思った。

Bさんの感想

構内が広くて、移動が大変だった。見学をして、自分も大学へ行きたい気持ちがさらに強くなった。



進路指導室より

「なんで勉強しなきゃいけないの?」とか「卒業して役にも立たないことを勉強しても意味ない」などと口にする生徒の声をときどき耳にします。そのような問いかけに対して、皆さんは身の周りの大人から、どんな返答を受けてきたでしょうか? 次のいくつかの言葉は、ベネッセの「ハイスクールオンライン」というサイトに載せられていたものですが、そのような問いに対して、生徒の心に特に響いた言葉を集めたものです。この中で1つでも皆さんの心に響いてくれれば、とても嬉しいです。

～勉強がおもしろいと思える、もしそんな自分になれば、すごい一生になると思わないか?～

～知識があれば、失敗を防げる場合がある。幸せに生きることを知識が助けてくれる～

～“あなたのためになるから”ということに尽きる～

～勉強は一生必要なもの。もしも今逃れても、本質的には逃れられないよ～

～オリジナリティーは学んだ事から生まれます。自由に考えたいと思ったら、逆のようだけど、まず勉強してみよう～

～もしも今、知ると言うことが楽しくなくても、知っている事実や知識が、きみを助ける 때가来ます～

～もしかしら、今後の日常生活でピタゴラスの定理は使わないかもしれない。英語も話さないかもしれない。ただ、問題を解く、筋道立てて考える、それを伝えるというプロセスは実生活に絶対必要。そのプロセスを学ぶための道具として考えてみたらどう?～

～生きていくのに最低限の知識があれば、人は生きていけるのか?・・・確かに生きていけるかもしれないが、余裕のない、目先だけを見た生き方になる。人生で起こるいろんな問題を解決していくには、多くの知識が余裕を持たせてくれる～

～「ああ、このために勉強したんだな」というときが必ずくる!～

～いろいろな分野を学ぶことは、実は自分の進路を探ること。高校の勉強が、広く学べる最後のチャンスでもある～

((株)ベネッセコーポレーション ハイスクールオンライン 進路相談室より抜粋)

進路関係行事予定 (11～1月)

11月

20日(金) 卒業生に聴く(1年生)

12月

11日(金) 職業講話(2年生)

1月

8日(金) 3年生に聴く(2年生)